

## 令和6年度 横浜市泉区社会福祉協議会 事業方針

泉区社会福祉協議会（以下、区社協）は、「互いに助け合う！誰もが安心して暮らせるまち泉」という泉わくわくプランの基本理念のもと、住民同士の緩やかなつながりと支え合いを基本に、ひとりひとりが感じる生活のしづらさや困りごとなど、制度の狭間にある課題に目を向け、誰もが居場所や役割のある地域づくりをすすめます。

令和6年度は、ゆめがおか駅周辺の開発に伴い街が大きく発展するなかで、新たな人と人とのつながりづくりをすすめます。

加齢や障がいによって自身の生活に不安や困りごとをかかえる人の暮らしを守るため、権利擁護事業を中心に関係者の連携を進めるとともに後見制度の拡充に向け関係機関のネットワークを強化します。

住民にとって身近な地区社会福祉協議会（以下、地区社協）が交流や通いの場づくりを継続的に進めるとともに、住民の困りごとに気づき相談する取組を支援します。

泉区が進める災害に強いまちづくりに協力するとともに、日ごろから関係機関との連携を進め、発災時の災害ボランティアセンターの立ち上げや円滑な運営に向けた訓練に取り組みます。

必要な人に情報が届くよう効果的な広報を工夫するとともに多くの人が地域活動に参加できる機会を設け、新たな担い手の発掘と育成を行います。

本会の会員であるさまざまな組織や団体が連携・協働を深めるとともに区内の企業や法人の協力を得て、それぞれが持つ機能・役割を活かして、地域課題の解決に向けた取組を進めます。

第4期泉区地域福祉保健計画「泉わくわくプラン」が4年目となり、計画の振り返りとともに「地区別計画」の一層の推進に向けた支援を継続し、第5期計画の策定に向けた準備を始めます。

### 【重点取組】

#### 1 自分らしく生きるための支援の推進

困りごとをかかえる一人ひとりが安心して日常生活が送れるよう仕組みを工夫し支援します。

また、サポートが必要な方たちを支える担い手の育成を進めます。

#### 2 元気でいるための支援の充実

ライフステージにあわせた健康づくりの普及啓発を進めるため、地区社協をはじめ各種団体の活動が活発に継続できるよう支援するとともに、新たな活動の立ち上げを支援します。

#### 3 地域の安全をみんなで考える

区内の災害に備えたネットワークの充実と新たなコーディネートシステムを活用し「災害ボランティアセンター」の体制強化を図ります。

#### **4 相談しやすい仕組みづくり**

区社協のボランティアセンター、あんしんセンター、移動情報センター、生活福祉資金貸付支援、助成金・地域活動支援等が横断的に連携し、「断らない相談支援」に努めます。

#### **5 困りごとを支援につなげることができる人を増やす**

困りごとを自ら発信しづらい人に寄り添い、気づき、必要な支援につなげられる支援者を増やします。

#### **6 一人ひとりに寄り添った支援から地域の課題を考える**

身近な地域で住民同士の「支え合い活動の創出・継続・発展」に向けた支援や「交流・居場所」「生活支援」「見守り・つながり」づくりを進めます。

#### **7 参加する人を増やす**

地域活動に関する情報をさまざまな媒体を活用して発信し、地域活動に参加する人を増やします。

#### **8 担い手を増やす**

地域活動に参加した人がその魅力や参加したあとの達成感などを感じ、地域の活動の担い手として継続してもらえるよう工夫します。

地域、学校、企業等に向けて各種ボランティア講座を開催し担い手を増やします。

#### **9 つながる機会を作る**

さまざまな施設、団体や企業が連携して地域活動に参画し、多くの人との交流の輪が広がる機会をつくります。

#### **10 組織運営の充実**

法人の理念の実現に向け法令等を遵守し、事業の透明性を確保し、区民の期待や信頼に応えます。

地域の変化や社会情勢に機敏に対応し、業務の見直しや効率化に努めます。

以上

## ■事業計画

この事業計画は、前述の事業方針と重点取組に基づいて、第4期泉区地域福祉保健計画推進の柱及び重点項目に連動させ策定しています。

また、主な事業の予算額を表示（令和6年度予算額 [令和5年度予算額]）しています。

取組にあたっては、本会の強みである会員組織としてのネットワークを活かし、関係団体・機関の連携を促進します。

### 1 いつまでも健やかに暮らせる地域づくりを支援する

#### 重点項目1-1 自分らしく生きるための支援を進める

《個人の権利と尊厳を守るための仕組みづくり》

##### (1) 認知症に対する正しい理解と見守り活動の推進

認知症になっても安心して自分らしく暮らせることができる地域の実現を目指し、認知症の正しい理解を広げ、支援する担い手を増やします。

##### 【取組事項】

- ① 「泉区認知症サポーター」登録推進事業への協力
- ② 「泉区認知症キャラバンメイト連絡会」への参画と協力支援
- ③ 「チームオレンジ」の推進支援を通じた認知症の人が自分らしく安心して暮らせる地域づくりの推進
- ④ 認知症カフェ・介護者の会等の活動支援及び必要な居場所づくりの推進

##### (2) 権利擁護事業（あんしんセンター）

（市社協受託金）（利用料収入）318千円 [313千円]

高齢者や障がい者の財産や権利を守り、安心して日常生活が送れるよう相談・契約によるサービスを行います。また、判断能力の低下に伴い成年後見人に速やかに移行できるように区や地域包括支援センター、障害関係相談機関と協力し、泉区成年後見サポートネットや社会福祉士連絡会の場等を利用して連携を図ります。また、市民後見サポートネットを開催し、横浜市市民後見人バンク登録者（泉区登録者）との連携を進めます。

	R 3実績	R 4実績	R 5見込	R 6見込
権利擁護事業契約件数（件）	38	51	51	53
*当年度新規契約件数（件）	5	21	7	10
*権利擁護から成年後見への移行（件）	4	2	2	3
*成年後見に関する相談件数（件）	8	10	9	10

\*評価指標 権利擁護事業新規契約件数：増加  
権利擁護事業から成年後見への移行：増加  
成年後見に関する相談件数：継続

《サポートが必要な方々の理解と支援の推進》

##### (1) 移動情報センター事業 （市社協受託金）（市補助金）10,967千円 [9,560千円]

障がい児者の通学通所や通院、余暇活動等外出機会の移動手段に関する情報収集・発

信、相談調整、人材発掘・育成を行います。また、事業を通じて把握した障がい児者の困りごとを関係機関や地域住民と共有し、障がい児者やその家族が安心して暮らせる地域づくりを進めます。

**【取組事項】**

- ① 移動に関する相談窓口の運営  
 移動に関する相談を受け付け、必要に応じて移動支援情報の提供または福祉サービスの紹介、調整等を行います。また、区内関係機関と連携を行い、適切な支援が行われるよう相談支援機関につなげるとともに、相談受付対象者へのフォローアップに努めます。
- ② 移動支援情報の収集及び更新  
 障がい支援サービス事業所や学校等へ、調整が難航しているケースについてヒアリングを行い、関係者との情報共有・連携を図ります。また、顔の見える関係づくりを継続し、把握した課題やニーズを整理し、他区移動情報センターや関係機関と共有・連携していきます。
- ③ 移動支援に関わる担い手の発掘・育成に向けた取組
  - ア 担い手の拡充を目的に講座を開催するため、ボランティアセンター他、関係機関との連携をさらに図っていきます。
  - イ 安全に支援できるよう、活動への同行、モニタリングの実施、初回相談の同行を行います。
  - ウ ガイドボランティア講座を開催します。
- ④ 推進会議の開催
- ⑤ 事業の周知
  - ア 移動情報センター通信の発行、区社協HPや自立支援協議会の場の活用、ボランティアセンターかわら版での移動情報センター事業の周知、移動情報センターリーフレットの改訂等行います。
  - イ 自治会町内会、地区社協等関係団体、学校関係へのPR活動の推進を行います。
- ⑥ 区間連携及び関係機関との連携
- ⑦ 横浜市ガイドボランティア事業における事務取扱団体の事務

	R 3 実績	R 4 実績	R 5 見込	R 6 見込
*ガイドボランティア登録者数（人）	37	39	40	45

\*評価指標 ガイドボランティア登録者数：増加

**(2) サポートが必要な人への理解の推進** (共同募金) 162千円 [171千円]

**【取組事項】**

- ① 「障害者週間」や区内の施設や団体などの活動について周知するため、また障がい者への理解・啓発の推進のために泉区福祉の作品展を開催
- ② 障がい理解・啓発を目的に、区内施設等の利用者やその家族、職員と協力し、講座等を開催
- ③ その他

障害者地域作業所等通所者の社会参加を促進するため、広報紙の一部配付業務を障害者地域作業所等へ委託します。また、地域にある障害者地域作業所等の取組が区民に広く伝わるよう、広報紙の活用など啓発にかかわる支援を行います。

	R 3実績	R 4実績	R 5実績	R 6見込
* ボランティア講座実施回数 (回)	中止	3	2	5
* 同 参加者数 (人)	中止	58	27	100

\* 評価指標 障がい理解・担い手育成のためのボランティア講座実施回数・参加者数：増加  
(出前講座含む)

## 重点項目 1-2 元気でいるための支援を充実させる

《介護予防・健康づくりの推進》

(1) それぞれの年代に応じた健康づくり

いつまでも健康な生活をおくることができるよう、健康づくりの取組を進めます。

【取組事項】

- ① 地域で行われる高齢者食事会、サロンやウォーキング事業等を実施する団体への支援と新規グループの立ち上げの支援
- ② ふれあい助成金（健康増進区分）を活用して自治会町内会やボランティアグループ等が実施する健康づくり・介護予防活動を支援
- ③ 横浜市で展開している地域活動や地域サービスの検索サイト「ふくしらべ」や「ヨコハマ地域活動・サービス検索ナビ」を通じた区内外の健康づくりに関係する情報発信

	R 3実績	R 4実績	R 5実績	R 6見込
* ふれあい助成金（健康増進区分）活動団体数	12	14	11	13

\* 評価指標 ふれあい助成金（健康増進区分）による活動団体数：増加

## 重点項目 1-3 地域の安全をみんなで考える

《安心・安全に暮らせる環境の整備と推進》

(1) 災害対策の充実・強化 (市社協補助金) (賛助会費) 80 千円 [80 千円]

災害時への備えを通じて平常時から互いに支え合える地域づくりを進めます。また、泉区災害ボランティアセンターの機能を十分に果たせるよう、泉区災害ボランティア連絡会や関係機関・団体との協力体制を構築し、災害時に備えたネットワークづくりと啓発活動に努めます。

【取組事項】

- ① ICTを活用した災害情報共有システムを基本とした、災害ボランティアセンターの円滑な運営体制の検討
- ② 泉区災害ボランティア連絡会の活動支援
- ③ 各種災害に対する義援金募集活動等の災害支援への取り組み

## 2 人やさまざまな活動でのつながりや交流が進む地域づくりを支援する

### 重点項目 2-1 相談しやすい仕組みを整える

#### 《断らない相談支援の推進》

区社協では、事業ごとに相談窓口を設置しています。それぞれの役割・機能を活かし、地域の様々な相談を受け止めます。相談内容によっては、区社協内の相談窓口同士が連携し、他の専門機関につなぐなど一体的な対応をします。

継続的なかわりが必要な場合は、相談者にとって身近な地域内の多様な主体とも連携し、新たな生活課題への対応を含め「地域共生社会」の実現を目指します。

また、ホームページ、リーフレットや掲示板等で、相談対応内容など情報提供を行っています。

#### 本会の相談窓口

- ・ 泉区ボランティアセンター
- ・ 泉区社協あんしんセンター
- ・ 泉区移動情報センター
- ・ 生活福祉資金貸付相談
- ・ 善意銀行寄付相談
- ・ 泉区福祉保健活動拠点利用相談
- ・ その他 地域福祉活動全般に関する相談

### 重点項目 2-2 困りごとを支援につなぐことができる人を増やす

#### 《支援者のスキルアップ・対応力向上》

##### (1) 地区社協活動の支援

(市社協補助金) (賛助会費) (共同募金) 5,694千円 [5,844千円]

身近な地域のつながり・支えあい推進事業を進めながら、地域支援方針や地区社協のてびきに基づき、地区社協の目的である「一人ひとりの困りごとを解決できる地域づくり」を推進できるよう支援します。引き続き、地区社協が交流や通いの場づくりを継続的に進められるよう、それぞれの工夫を共有し、活動が発展するよう支援に取り組めます。また、各地区に担当職員を置き、地区社協の運営や事業の実施等を支援します。

#### 【取組事項】

- ① 地区社協分科会の定例開催 (隔月開催)
- ② 区域の地区社協研修の開催
- ③ 地区研修の開催支援
- ④ 地域アセスメント、地区診断、地区社協状況書の作成支援の実施
- ⑤ 「泉わくわくプラン」地区別計画に連動した地区社協活動の推進
- ⑥ 区社協賛助会費への理解推進
- ⑦ 地区社協活動の広報活動
- ⑧ 地区社協活動費の交付
- ⑨ 市域情報の発信、情報共有と検討

##### (2) 民生委員・児童委員との連携

地域における身近な相談役である民生委員・児童委員、主任児童委員とともに、地域

の課題解決に向けた取組を進めます。民生委員児童委員分科会の開催や、地区民児協定例会への参加により、地域福祉推進のパートナーとしての連携を深めます。

また、民生委員・児童委員活動に活かしていただけるように相談傾向等の情報発信を行います。

### (3) 生活困窮者自立支援施策への対応 (県社協受託金) 4,366 千円 [3,156 千円]

生活困窮者自立支援法において、生活福祉資金貸付事業や総合相談、区生活支援課との連携を通して支援に取り組めます。また、新型コロナウイルス感染症等の影響等により生活に困窮した世帯へ償還に向けた指導等、借受世帯への全般的な相談に対し、関係機関や民生委員・児童委員と連携しながら支援していきます。

#### 【取組事項】

##### ① 生活福祉資金貸付事業相談

貸付の種類：総合支援資金、臨時特例つなぎ資金、緊急小口資金、福祉資金（教育支援資金等）、不動産担保型生活資金、その他

ア 教育支援資金等の概要や相談傾向を、泉区児童支援専任教諭・生徒指導専任教諭協議会において共有し、個別の課題を支援する存在を増やします。

イ 特例貸付借受世帯へ生活再建及び償還に関する支援を行います。

##### ② 食糧支援

生活困窮者や緊急的に食糧支援が必要な方に対しては、区と情報共有し、株式会社セブン・イレブン・ジャパンやフードバンクかながわ等と連携して自立に向けた支援を実施します。

## 重点項目 2-3 一人ひとりに寄り添った支援から地域の課題を考える

### 《地域課題の抽出と課題解決に向けた取組の検討》

#### (1) 身近な地域のつながり・支えあい推進事業

様々な生活課題を抱えている地域住民に寄り添い、地域活動者・福祉保健関係者や多様な主体とより連携し、つながりや支えあいづくりを推進します。

#### 【取組事項】

- ① 地区社協のてびき研修の内容を地域住民や関係機関と共に理解を深め、一人ひとりの困りごとを地域で受け止めながら解決を目指せる地域づくりを推進
- ② 住民同士の助け合い活動団体の立ち上げ支援の推進
- ③ 団体同士の連携を進め、担い手育成や地域での見守り体制の構築
- ④ 区・包括カンファレンス等への参画し、個別・地域課題の継続的な把握を行いながら課題を抱えた住民と地域とのつながりづくりを推進
- ⑤ 子ども支援団体等と連携し、課題の共有や解決に向けた取組の推進および個々の課題をもつ子ども・若者支援の地域理解の推進

#### (2) 生活支援体制整備事業 (市社協受託金) 200 千円 [200 千円]

高齢者の生活支援・介護予防の充実のため、区、地域ケアプラザ、地区社協、自治会町内会、ボランティア団体、施設や企業など、多様な主体との連携により、担い手の発掘と育成や新たな活動を創出します。また、地域包括ケアシステム構築に向け「泉区ア

クションプラン」とも一体的に推進していきます。

#### 【取組事項】

- ① 区と協働して区レベル協議体（支えあいの仕組みづくりを進める会議）の開催や各地域ケアプラザの協議体の開催に向けた支援
- ② 第2層生活支援コーディネーター連絡会を開催し、研修を取り入れながら各エリアの状況把握と全区的な取組課題の検討
- ③ 横浜市で展開している地域活動や地域サービスの検索サイト「ヨコハマ地域活動・サービス検索ナビ」や「ふくしらべ」を通じた区内外の健康づくりに関係する情報発信【再掲】
- ④ 地域に密着したニーズを把握し、必要なインフォーマルサービスの創出と活用の推進
- ⑤ 地域活動に取組む団体等をフォローするための研修会を開催

#### (3) 泉サポートプロジェクトの推進

福祉施設や企業等が連携し、地域貢献の一環として地域ニーズを支援する取組を推進します。そのために、区域及び各エリア別に取組を集約し、課題解決に向けた検討を進めます。

#### 【取組事項】

- ① 施設や企業、地域住民に対する取組の啓発
- ② 地域における困りごと等ニーズの発掘
- ③ 地域ニーズに対応するため、登録団体の拡充
- ④ 専門領域の関係団体との連携
- ⑤ エリア別の取組の推進に向けた支援
- ⑥ 取組の推進に向けた登録団体の代表者による検討会を開催
- ⑦ 検討会で議論された内容等を登録団体や関係者と共有し、区域での取組を推進するための全体会を開催
- ⑧ 登録団体による緩やかな連携の中で互いの実践等を共有する情報交換会への支援

	R 3実績	R 4実績	R 5見込	R 6見込
* 泉サポートプロジェクト参画施設・企業による活動数	39	45	53	63

\*評価指標 泉サポートプロジェクト参画施設・企業による活動数：増加

### 3 地域活動への参加が活発になる地域づくりを支援する

#### 重点項目3-1 参加する人を増やす

《地域活動に参加するきっかけ作り》

##### (1) 地域情報や活動に関する情報発信

広報媒体や内容に応じて事業間での連携を図り、効果的な情報発信を行います。

#### 【取組事項】

- ① 「区社協だより泉」の発行（年3回）



(賛助会費)(共同募金)(区指定管理料) 1,800 千円 [2,190 千円]  
地域住民が自分たちの暮らすまちに関心を持つきっかけとなるよう、地区社協やボランティア団体の活動、区社協の事業などの情報を発信します。

② 「ボランティアセンター通信かわら版」の発行(年2回)

ボランティア講座やボランティア募集、ボランティア活動について掲載し、区内のボランティア活動の活性化につなげます。

③ 区社協ホームページの活用

(指定管理料・賛助会費・共同募金等) 339 千円 [321 千円]

地域情報や活動に関する情報を広く発信できるよう、区社協ホームページを積極的に活用します。また、誰もが情報にアクセスしやすく利用しやすいホームページづくりをすすめます。

④ 移動情報センター通信の発行(年1回)

⑤ 泉区民ふれあいまつり等に参加し、区民への啓発活動

(2) 第38回泉区社会福祉大会の開催

(共同募金) 493 千円 [508 千円]

福祉活動功労者に対する顕彰及び「泉わくわくプラン」の周知をはじめとした区民への福祉啓発事業を実施します。

(3) 善意銀行

区民の皆様からのお預かりした寄付金や物品を区内の施設・ボランティア団体のニーズに基づき効果的に配分します。寄付を受けた食糧品等は、生活困窮者や緊急的に食糧支援が必要な方への支援に活用します。こうした取組を通じて、区民の寄付文化を醸成します。

**重点項目3-2 担い手を増やす**

《活動を継続していくための支援》《新たな担い手の発掘・育成》

(1) ボランティアセンターの運営

(区指定管理料) 904 千円 [904 千円]

ボランティアや地域住民の活動に関する様々な相談に応じ、地域福祉活動を担う人材確保・育成のため、テーマ別・対象別等のボランティア講座を移動情報センター等他事業や他機関と連携し実施します。また、活動の継続のために既存のボランティアのニーズを把握し、それに合わせたフォローアップを行います。

これからの地域を担う学生が地域や福祉について知り、考え、主体的に地域活動に参加できる機会づくりに取組みます。

【取組事項】

① ボランティア講座の開催及び活動支援

ア ボランティア入門講座を開催します。

イ 学生のためのボランティア講座を開催します。

ウ 関係機関等とのボランティア活動分野別、エリア別講座を開催します。

エ 住民同士の助け合い活動を支援します。

オ ガイドボランティア講座を開催します。【再掲】

カ 施設や団体等のボランティア受入れにかかわる方を支援します。

② ボランティア相談の実施

ア ボランティア登録の相談や受付業務を行います。

イ ボランティア保険の受付業務を行います。

	R 3実績	R 4実績	R 5見込	R 6見込
*ボランティア講座実施回数 (回)	9	9	9	9
* 同 参加者数 (人)	36	38	20	20

\*評価指標 各種ボランティア講座の実施回数・参加者数：増加

## (2) 担い手と地域活動のコーディネート

ボランティアセンターにおいては区民からの相談に対して、ボランティア団体、施設等のネットワーク機能を活かしニーズに合った活動を紹介します。また、担い手が地域の活動と結びつくよう、企業・NPO法人・学校等と地域との関係性を構築し、活動機会の拡充・活動への参加促進を図ります。障がいがある方への社会参加についても、関係機関と連携し支援していきます。

地域への情報の共有やニーズの把握は、ボランティアセンター・地区担当職員が連携しながら取組めます。

### 【取組事項】

- ① ボランティア相談・コーディネートの実施、ボランティアの活動支援
- ② 地区担当職員と情報を共有するために、エリアごとに登録者やケースの情報を整理
- ③ ボランティア情報の定期的な発信、ボランティア登録者へのアプローチ
- ④ 「人財バンク」の情報更新（区民活動支援センターとの協働事業）

## (3) 活動継続のための支援

(賛助会費) 100 千円 [100 千円]

ボランティア活動継続のために各種情報提供や、ボランティア・団体間の交流やつながりを支援します。

### 【取組事項】

- ① 泉区ボランティアネットワークの運営・活動支援
  - ア 泉区ボランティアネットワーク運営委員会の定例開催支援
  - イ 泉区ボランティアネットワーク各部会の開催支援
  - ウ 泉区ボランティアフォーラムの開催支援
  - エ 泉区ボランティアネットワークの活動を支援するため、助成金を交付

## (4) 泉区福祉保健活動拠点「泉ふれあいホーム」の運営

(区指定管理料・利用料収入等) 18,096 千円 [17,362 千円]

世代や障がいの有無に関わらず市民の自主的な福祉保健活動に「活動の場」を提供することにより、福祉活動の推進を図ります。また、利用団体相互の交流や情報の提供を積極的に行い、単なる活動の場の提供にとどまらない「福祉活動の裾野を広げる」ことを目的とした福祉保健活動拠点の運営に努めます。そして、より多くの方に福祉保健活動に関心をもってもらうため、ボランティアセンター事業としてボランティア講座を行う等工夫しながら取組めます。

[指定管理期間：令和3年4月1日～令和8年3月31日]

	R 3実績	R 4実績	R 5見込	R 6見込
登録団体件数（件）	242	219	206	215
利用実績（延べ件数）	1,780	2,244	2,150	2,250

#### 【取組事項】

- ① 窓口や電話での相談、利用登録団体懇談会、利用者アンケートの実施などを通じて、利用者のニーズの把握に努め、拠点やボランティアセンターの運営に反映
- ② ホームページによる福祉保健活動拠点の情報発信、情報提供
- ③ 夜間及び土日祝日の稼働率向上を目的とした広報活動の実施
- ④ ボランティア講座や研修会を実施し、人材発掘を推進
- ⑤ 開かれた施設を目指し、指定管理者に応募

#### （５）泉ふれあい助成金・福祉の泉助成金

（市社協補助金・共同募金・善意銀行等）12,795千円 [12,699千円]

身近な地域の支えあい活動や障がい当事者活動、住民主体の活動を推進するため「泉ふれあい助成金」及び「福祉の泉助成金」を通じた活動支援を行います。また、さまざまな団体が申請しやすいしくみを検討し、継続的な活動の支援とともに、助成金の新規活用を促進します。

	R 3実績	R 4実績	R 5見込	R 6見込
助成団体数（件）	146	135	140	150
*参加者数（人）	34,285	52,551	56,885	59,000
*要援護者支援区分と障がい児者支援区分での申請団体数（件）	91	64	65	70
*上記担い手数（人）	838	709	713	730

\*評価指標 ふれあい助成金交付事業の参加者数：増加（重点項目3-1）  
ふれあい助成金交付事業の交付団体数・担い手数：継続

### 重点項目3-3 つながる機会を作る

《様々な人との交流の推進》

（１）地域の中でより多くの人との交流を進める

（共同募金）48千円 [45千円]

泉区には、ボランティア団体や福祉施設が数多くあり、活発に活動しています。これらの活動をきっかけに、地域交流の促進を目指します。

#### 【取組事項】

- ① 泉ふれあいシールラリーの共催（共催：区、泉区障害福祉自立支援協議会）  
障がいのある人たちの活動場所に地域住民が足を運ぶきっかけとし、関係機関・団体と連携しながら、障がいの理解へつなげます。
- ② 若年層のボランティア活動の機会（福祉イベント、共同募金街頭運動など）を提供

## (2) 福祉教育

(賛助会費) (市社協補助金) 278 千円 [196 千円]

地区担当職員や地域の関係機関・団体と連携し、様々な対象に向けた福祉教育（啓発）を行い、社会福祉への理解を促進します。

子どもの体験を通じた学びの機会が広がるよう、「いずみサマースクール」の協力施設の拡充やプログラム内容の充実を図ります。また、区内の学校等に向け、福祉の授業実施のPRを行い、学びが深まる授業を共に検討していきます。

### 【取組事項】

- ① 学校、企業、地域住民等を対象に、障がいや高齢者理解等の福祉教育（啓発）を実施
- ② 小中高生対象の福祉体験学習「いずみサマースクール 2024」の実施
- ③ 泉区児童支援専任教諭・生徒指導専任教諭協議会や学校長会での情報提供、福祉教育担当教諭の社会福祉への理解の促進等、学校との連携強化

	R 3 実績	R 4 実績	R 5 実績	R 6 見込
*福祉教育実施件数（件）	3	20	13	15
* 同 参加者数（人）	469	1,385	998	1100
*サマースクール実施件数（件）	中止	32	33	35
* 同 参加者数（人）	中止	103 <sup>※</sup>	80	90

※「ボランティアスクール」として夏と秋の2回開催

\*評価指標 福祉教育の実施件数・参加者数：増加  
サマースクール実施件数・参加者数：増加

## 《関係機関同士の連携強化》

### (1) 子どもの支援

(共同募金) 99 千円 [99 千円]

子どもの健やかな育ちの支援として、子育て中の孤立感の解消などを目的に地域における子どもの居場所づくりや子育てを応援します。

### 【取組事項】

- ① 子育てネットワークへの参加
  - ア 泉区子育て支援連絡会・子育てサークルリーダー研修会・親子の居場所連絡会の事務局として、区、子育て支援拠点すきっぷとともに子育て中の親子支援の検討、研修会を実施します。
  - イ 地域ケアプラザエリアの子育てネットワークに参加し、エリア内の子育て課題の検討、支援を行います。
- ② 関係機関の連携
  - ア 子ども支援団体等と連携し、課題の共有や解決に向けた取組の推進および個々の課題をもつ子ども・若者支援の地域理解の推進を行います。【再掲】
  - イ 泉区児童支援専任教諭・生徒指導専任教諭協議会、区やスクールソーシャルワーカーや横浜市西部地域若者支援連絡会等と連携し、子どもの置かれている状況について情報共有を進めます。

## (2) 地域ケアプラザ地域活動交流コーディネーターの支援

(市社協補助金) (共同募金) 82 千円 [87 千円]

地域住民の福祉活動を支援する地域活動交流コーディネーターを支援するため、連絡会を開催し、情報交換や研修会、勉強会等を行います。

## (3) 泉区障害福祉自立支援協議会への参画

協議会や部会等と連携し把握した情報を地区支援や区社協実施事業を進めながら、地域へ伝えていきます。また、地域の取組を協議会等でフィードバックします。

# 4 社会福祉協議会活動・法人運営

## (1) 「泉わくわくプラン」推進に向けた取組

「区との共同事務局により計画を推進します。また、子どもの頃から身近な地域に関心を持つことや地域活動の活性化、新たな担い手の発掘に向けて、小中学生を対象とした「わくわく応援隊」の実施および、「泉わくわくプラン児童向け教材」を活用した啓発を行います。

地区別計画は各地区の地域支援チームを中心とした関係機関と連携し、推進していきます。また、令和8年度から始まる第5期計画の策定に向けて準備を行います。

## (2) 社会福祉法人の支援

(県社協助成金) 200 千円 [0 千円]

社会福祉法人に対して公益性、組織管理・財務規律の強化などが求められていることを踏まえ、本会会員である法人・施設へ研修の機会や必要な情報を提供します。また、神奈川県社協による「地域ネットワーク強化学業助成金」を活用し、専門機関部会等において区域・地区域における法人・施設の連携を推進します。同時に、泉サポートプロジェクト等の実践を活用し、社会福祉法人の公益的な取組を支援します。

## (3) 公益性の高い社会福祉法人としての適切な組織運営

① 理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会の開催

② 各種部会、分科会の開催

③ 各種委員会の開催

ア ボランティアセンター運営委員会      イ 広報編集委員会      ウ 助成金配分  
審査委員会

④ 計画的で透明性の高い業務執行、法律や規程に基づいた適切な事務・経理処理

⑤ 会員及び賛助会員の募集と会費の有効活用

⑥ B C P (災害時の業務継続計画) の適宜、見直し

## (4) たすけあい福祉資金給付

火災・風水害等を受けた罹災世帯に見舞金を交付します。

## (5) 行旅病人への支援

行き倒れや行き場のない方への緊急措置として一時金を支給します。

## (6) 訪問理美容サービス事業

在宅の要介護者などに対して理美容師による出張サービスの受付と紹介をします。

## (7) 関係団体の事務局機能

地域で活動する各種福祉団体の事務局を担い、活動を支援します。また、各団体の活動を広報し、理解啓発に努めます。

### 【各団体の活動内容】

#### ① 神奈川県共同募金会横浜市泉区支会

赤い羽根共同募金・年末たすけあい募金運動を実施し、区内および県内の福祉施設や障がい者団体、ボランティア団体等の活動支援を行います。

#### ② 日本赤十字社神奈川県支部泉区地区委員会

日本赤十字会員増強運動、災害救護事業・災害救護に関する活動の推進、災害義援金の受付、地域福祉活動への助成を行います。

#### ③ 泉保護司会

保護司活動に関わる事務手続きや関係機関への調整等のサポート、犯罪予防活動や処遇活動の推進、各協力組織との連携や社会貢献活動への支援を行います。

#### ④ 泉区更生保護女性会

保護司と協力して「社会を明るくする運動」の推進、共同募金（街頭募金）への参加、研修会の開催、子育て支援などを行っています。

#### ⑤ 泉区更生保護協会

更生保護活動の周知・啓発や「社会を明るくする運動」の推進に伴う各事業を行います。

#### ⑥ 泉区遺族会

戦没者遺族の相互扶助および福祉増進に努めるとともに恒久平和に貢献します。